

「晴天に霹靂(へきれき)」

青空 遠く遠く
真昼に 深く高く
晴れわたる

君が踏み鳴らす
靴音が 道へと沈み
響きわたる 韶きわたる 雷鳴

一瞬だけきらめいて
一瞬で消えていく
ふがいない僕を
打ち砕きながら

ゆるやか 君が笑う
ひらめく君のかかと
さえわたる

君のささやいた
口元が わざかにゆがみ
それが合図 それが合図 きっと

一瞬だけひらめいて
一瞬で落ちてゆく
土砂降りの雨
ずぶ濡れになって

夏のアスファルト
溶けていく
稻妻で眩むように